

東洋音楽研究

第七七号

目 次

論 文

- 荻生徂徠における札楽論の展開—朱熹札楽論の受容と変容をめぐつて 陳 貞竹 : 1
バリ島ティヒンガン村におけるガムラン鍛冶の変容—楽器の流通の視点から— 杉山 昌子 : 20
メタクサス独裁体制期（一九三六—一九四二）の音楽政策と「ギリシア音楽」の創出 佐藤 文香 : 41

研究ノート

- 潘之恒における「絃靴—三絃源流説」 深草 アキ : 61
ゴン・クビヤールにおける演奏様式の成立過程 鈴木 良枝 : 73
—グラダック集落におけるウガル奏者の音楽的役割を中心にして ウメトバエワ・カリマン : 87
コムズの伝統とその改良—クルグズにおける教育現場の実践を例に—

資料紹介

- 一五世紀ベルシアの楽器誌—『ジャーメオル・アルハーン』第一〇章、第四節の訳注
(アブドゥルカーデル・マラーギーの自筆本による) — 枝植 元一 : 101

横道萬里雄氏の文化功労者顕彰を祝つて

- 横道萬里雄氏の文化功労者顕彰を喜ぶ 蒲生 鄭昭 : 131

書評

- 『日本の楽劇』 土田牧子・太田暁子・高桑いづみ・金城厚・近藤静乃 : 137

書評

- 遠藤 徹編『天野社舞楽曼荼羅供—描かれた高野山鎮守社丹生都比売神社遷宮の法楽』 南谷 美保 : 156
蒲生鄭昭著『初期三味線の研究』 野川美穂子 : 161

彙報

定例研究会記録

東日本支部

西日本支部

沖縄支部

第六二回大会記録

第二九回「田邊尚雄賞」選考報告

薦田 治子

平成二四年度芸術学関連学会連合に関する報告

金城 厚

平成二四年度ICTMに関する報告

早稲田みな子

平成二三年度音楽文献目録委員会の活動報告

増野 亜子

平成二二・二三年度役員等一覧

190 186 182 181 179 178 177 174 173 170 166

編集後記

英文目次 English contents